従って円にしていく、平面で言うと正三角形の上に円を重ねていく。こうした造形は、彫刻家はよく知っています。

なぜそうなったかというと、敷地が東京タワーのように広くとれないという制約があったからです。狭い所に東京タワーの倍近い高さのものを作くらなければなりません。東京タワーが一辺約100m近い正方形の敷地の上に、４本足で踏ん張っているのに対し、東京スカイツリーは三角形の一辺が約70mしかないのです。平面的には５倍の面積の差があります。それで倍近い高さの塔を支えるわけですから当然、さまざまな工夫をこらさなければなりません。まず東京タワーはパリのエッフェル塔などと同じ材料を使っていますが、こちらはより強度が大きいパイプです。足元の一番太いパイプは直径2m30cmもあります。厚さ10cmという板材をプレスして徐々に丸めていくのですが、これ日本独自の技術ではないでしょうか。さらにパイプとパイプはリベットで留めるのではなく、溶接です。こちらの方が強度が出ますから。

（彫刻家澄川喜一氏取材誌より）

今日の一言：「人の悪きことはよく見ゆるなり、我が身の悪きことは覚えざるものなり。」

蓮如上人

プログラム

会員卓話

平成 25 年　越前市社会基盤整備事業について

中西真三会員

平成25年の越前市は、多くの主要事業が完成、又は、工事推進がされます。まず、本年３月に戸谷片屋線（東西１号線）の内、武生高等学校東側の鳥羽中芦山線から府中大橋を経由して、いよいよ日野川右岸から吉野瀬川に架かる桜橋が完成し、旧８号線迄が開通致します。その後、６月には鳥羽中芦山線から東方の８号線及びオーディオテクニカ迄が開通致します。

併せて、平出町から北側の河濯線が家久町迄完成し、残りは市内のロータリー会員　内藤義介さん付近の約800mが完成すれば、南の武生工業高等学校から北側の武生商業高等学校迄の南北の重要幹線道路が開通となります。本年、策定されます第二次中心市街地活性化基本計画５ヶ年計画の主要事業として位置づけられており、一日も早く、残り約800mの完成を求め続けたいと思います。併せて、家久１号線及び、北府３号線も完成します。

次に、神山地区から大虫、西、東、吉野地区を流れる吉野瀬川は現在、５年に一度の大雨により流域の浸水被害が計算上推定される地域となっており、平成10年、16年、18年等に発生しました。その為、河川対策として上流には吉野瀬川ダム及び日野川合流する下流からは河川の拡幅工事とショートカット工事が、現在順調に推進されています。

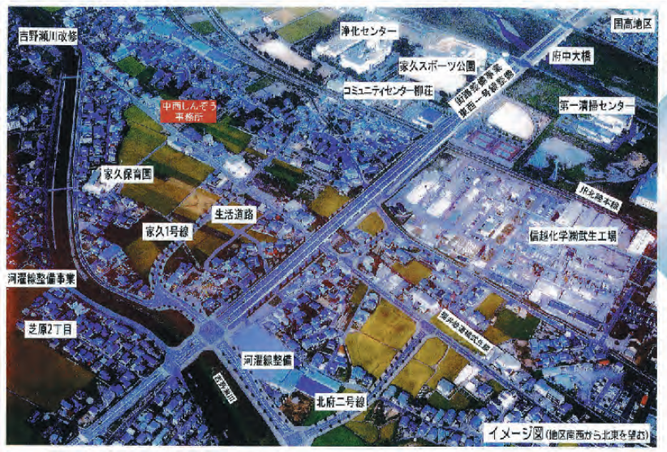
次に、福井県内４番目の総合公園が、丹南総合公園整備事業として、吉野地区の片屋、氷坂、余田町にて推進されており、現在、野球場が完成し、今秋より供用開始されます。今後、体育館兼管理棟、多目的グランド、全天候型運動施設（ゲートボール場）が、逐次建設され平成28年に完成予定です。

次に、北陸新幹線がようやく昨年工事認可となり、沿線地元への説明会が各地区で開催され、今年は中心線測量他に入り、新北陸トンネルが優先して工事発注となり、いよいよ本格工事の土音も聞こえて来そうです。平成37年頃には完成予定ですが、第二回福井国体の平成30年頃に天皇陛下が新幹線で来福されるなら、大変喜ばしい事と思います。

その他、叔羅分館の砧が本年５月連休前に、かこさとし絵本館として蘇ります。皆様、今しばらくお待ち下さい。

ニコニコ箱 …… 8,000 円

○佐々木会長　○河 合 敏 一　○山 田 洋 三
○中 西 真 三　○田 中 大 成



平成二十五年春完成へ
東西一号線整備事業

東西一号線（都市計画道路整備戸谷片屋線）は越前市の骨格を成す最重点緊急整備路線です。

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を

創　立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日／毎週火曜日　例会場／武生商工会館
会　長／佐々木忠彦　幹　事／河 嶋　一　会報委員長／丹 羽 新 吾

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

第2851回 例会記録　平成25年1月15日(火)

会員総数61名（内出席免除会員８名）　本日出席会員32名
メークアップ（前々回） 11名
出席率（前々回補正）71.70%
ロータリーソング「我等の生業」

新 年 の ご 挨 拶

ガバナー　河本英典
地区幹事長　井上和正

会長挨拶　　佐々木会長

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春をお迎えになったことと衷心よりお慶び申し上げます。

昨年は格別のご支援ご協力を賜り深く感謝申しあげます。本年も引き続き何卒宜しくお願いいたします。

さて、昨年７月からスタートしました2012-2013年度もガバナーとしましての最重要課題の公式訪問が12月に無事終了致しました。これも偏に貴クラブ会員皆様のご支援の賜でございます。私共が年度スタートにあたり掲げました「ガバナー及び地区はクラブ並びにロータリアンをサポートする」という当初の方針に基づいてこの半年間、公式訪問を始めとして活動して参りましたが、この考えは地区内97クラブに徐々に浸透してきたと感じております。

１月からの後半につきましては田中作次RI会長が提唱されました「奉仕を通じて平和を」に基づく「世界平和フォーラム」への参加や地区最大行事であります「地区大会」を控え、より一層気を引き締め粉骨砕身地区発展のために努力致す所存でございます。一層のご支援、ご協力をお願い致しまして新年のご挨拶といたします。新しい年の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

皆さん、こんにちは。

昨年５月22日に開業したスカイツリーの話をしたいと思います。

スカイツリーには大勢のカメラマンが写真を撮りに来ます。皆さん、よい撮影ポイントがどこか探す訳ですが、結局、ぐるりと一回りしてしまい、「あれ？」という顔をします。塔が傾いて見えるところが何カ所もあり、左右対称に見えるところは３点しかありません。一番良い撮影場所はどこか、と探しているうちに、一回りしてまた元の場所に戻ってきてしまうわけです。どうして、そのような形になっているかというと、「そり」を取り入れているからです。まっすぐというのも美しいのですが、日本刀のようにわずかにそった形というものは、厳しさが出てまた美しいのです。そりが大きすぎると青竜刀のようになってしまい、これはまたちょっと違いますね。

この「そり」に加え、「起(む)くり」という形も取り入れています。ギリシャ建築の柱は途中で膨らんでいますね。日本でも京都や奈良の大きなお寺の柱を見ると、非常に暖かい感じがします。これもわざと途中ちょっと膨らませているからです。それを「起くり」と言います。日本の木造建築の代表的な屋根である切妻にも「起くり破風」といって、屋根がまっすぐではなく膨らんでいる形があります。この形の屋根は、町並みを非常に暖かい感じにするわけです。

東京スカイツリーには「そり」と「起くり」の両方が取り入れられているのです。なぜそうなったかというと、低部はカメラの三脚のように三角形をしているのに、上に行くに従って徐々に円形になる形にしているからです。最初から正方形や円ならどこから見ても左右対称ですが、そうならないところが面白いのです。正三角形でスタートして高くなるに